

大会日程

前日 6月21日(金)

17:00~ 理事会(カルチャーホテル)

第1日 6月22日(土)

9:00 受付
9:10~9:20 開会式(講義棟5202)
9:30~12:00 研究発表
12:00~12:40 総会・研究奨励賞授与式
12:40~13:30 昼食
13:30~15:30 研究発表
15:30~17:30 ワークショップ・ラウンドテーブル
18:00~20:00 懇親会(カルチャーホテル)

第2日 6月23日(日)

9:00 受付
9:30~12:00 研究発表
12:00~13:20 昼食
各種委員会・評議会
13:20~16:00 シンポジウム
16:10~16:20 閉会式(講義棟5202)

部会などと教室との対応については、5頁をご参照ください。

ご 案 内

1. 会場

岡山大学津島キャンパス 教育学部講義棟および北音楽棟

2. 実行委員会事務局

岡山大学教育学部 高旗研究室気付
日本子ども社会学会 第9回大会実行委員会
〒700-8530 岡山市津島中3-1-1
TEL & Fax 086-251-7706
E-mail kodomo09@hotmail.com

なお、大会期間中は、大会本部（講義棟第4会議室）に実行委員会事務局員が待機しております。

3. 受付

6月22日（土）・23日（日）ともに9:00より、講義棟1階ロビーにて受付をいたします。抄録集・懇親会券等とあわせて名札をお渡ししますので、氏名を各自でご記入いただき、会期中お付け下さい。
なお、今大会では、大会参加費（抄録集代を含む）や懇親会費を大会会場にて受付します。

4. 参加費等

【大会参加費】 学会員 3,000円 当日会員 2,500円
【懇親会費】 5,500円

平成14年度学会費は、学会事務局（九州大学）へ口座振込でご納入下さい。

<学会事務局> 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1

九州大学教育学部地域教育社会学研究室気付

TEL/FAX (092) 642-3125

郵便振込口座 01760-1-85048（学会費納入はこちらへ）

学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/>

5. 研究発表

個人（1人）発表20分・質疑応答5分、共同（複数）発表40分・質疑応答10分とします。発表時間を厳守して下さい。なお、レジュメを用意される方は、60部以上ご用意下さい。万一不足の場合、大会本部ではコピー等しかねますのでご了承下さい。

6. 発表取り消し（欠席）の場合

発表を取り消す（発表者が欠席する）場合には、大会前日（6月21日）までに上記の実行委員会事務局にお知らせ下さい。なお、発表取り消しについては、『学会ニュース』にその旨を掲載します。

7. 図表およびプリント

研究発表の図表・プリントなどは、分科会名・氏名を明記し、各分科会の係まで発表当日、早めにご提出下さい。スライド・ビデオ・OHP等使用される場合、5月31日（金）までにご連絡下さい。

8. 会員控室（休憩室）

大会期間中の会員控室（休憩室）は講義棟1階の5101で、ご利用できる時間は9:00から17:45までとなっております。

付記 本大会、会場校に対して財団法人福武教育振興財団よりご援助を頂きました。記して感謝の意を表します。

小・中 学 生

司 会 押谷由夫 (昭和女子大学)
野垣義行 (鎌倉女子大学)

- 9:30 - 9:55 学校と地域社会の協働に関する一考察
濱元伸彦 (大阪大学大学院)
- 9:55 - 10:45 小・中学生の農山村における長期生活体験(山村留学)の教育的意味
岡崎友典 (放送大学)
小針 誠 (東京大学大学院)
大島常靖 (ヒューマンウェア研究所)
- 10:45 - 11:35 子どもたちの「居場所」と対人関係()
- 小学生の場合 -
住田正樹 (九州大学)
藤井美保 (香蘭女子短期大学)
田中理絵 (山口大学)
中田周作 (広島国際大学)
横山 卓 (九州大学大学院)
溝田めぐみ (九州大学大学院)
東野充成 (九州大学大学院)
- 11:35 - 総括討論

研究発表
2 部会

6 月 22 日 (土)
9 : 30 - 12 : 00
講義棟 5206

学 校

司 会 飯田浩之 (筑波大学)
古賀正義 (宮城教育大学)

- 9 : 30 - 9 : 55 いじめに関する調査研究
久保田真功 (広島大学研究生)
- 9 : 55 - 10 : 20 校友会運動部の社会的機能
- 明治期男子中学校を事例に -
安東由則 (武庫川女子大学)
- 10 : 20 - 11 : 10 学習意識・行動の変化に関する考察
- 経年比較調査をもとに -
樋田大二郎 (聖心女子大学)
諸田裕子 (お茶の水女子大学大学院)
木村治生 (ベネッセ教育研究所)
- 11 : 10 - 総括討論

研究発表
3部会

6月22日(土)
9:30 - 12:00
講義棟5307

子ども理解の方法

司 会 大塚忠剛 (安田女子大学)
竹内通夫 (金城学院大学)

- 9:30 - 9:55 兄弟関係における自己評価維持機制の研究
磯崎三喜年 (国際基督教大学)
- 9:55 - 10:20 子どもの死に関するイメージ画
石橋尚子 (兵庫教育大学)
津野博美 (津島町立下灘小学校)
- 10:20 - 10:45 児童学の射程をさぐる
- 児童(子ども)研究の総合可能性 -
小川博久 (日本女子大学)
- 10:45 - 総括討論

育 児 問 題

司 会 松浦 勲 (九州工業大学)
七木田 敦 (広島大学)

9:30 - 9:55 妊娠期の夫婦関係と子育てイメージ (第二報)

- 妊娠中の育児不安 -

田村 毅	(東京学芸大学)
倉持清美	(東京学芸大学)
中沢智恵	(東京学芸大学)
森田千恵	(東京学芸大学)
荒牧美佐子	(東京学芸大学)
持田恭子	(東京学芸大学)
木村恭子	(武蔵野日赤短期大学)
及川裕子	(武蔵野日赤短期大学)
岸田泰子	(島根医科大学)
泉 裕之	(板橋区医師会病院)

9:55 - 10:45 チャイルド・アブユース

- 親による適切でない扱いの現状 -

深谷和子	(東京成徳大学)
斎藤浩子	(山村学園短期大学)
吉野真弓	(東京教員養成学校)

10:45 - 11:10 子どもの監護教育責任と親の宗教的信念

- 子どもの最善の利益のために -

樫原義比古	(湊川女子短期大学)
-------	------------

11:10 - 総括討論

ジェンダー

司 会 木村敬子 (聖徳大学)
近藤 弘 (立教大学)

- 13 : 30 - 13 : 55 幼児期におけるジェンダー再生産の多重構造
佐藤和順 (兵庫教育大学大学院)
田中亨胤 (兵庫教育大学)
- 13 : 55 - 14 : 20 「ジェンダー・フリー教育」にみる実践のエピファニー
池田隆英 (広島大学大学院)
- 14 : 20 - 14 : 45 ジェンダー・フリー教育とジェンダー化の経験
氏原陽子 (三重短期大学非常勤)
- 14 : 45 - 15 : 10 ジェンダー・フリーの視点からみた学校環境とカリキュラム開発
金崎芙美子 (宇都宮大学)
杉野陽子 (佐野市立天明小学校)
- 15 : 10 - 総括討論

研究発表
2 部会

6 月 22 日 (土)
13 : 30 - 15 : 30
講義棟 5206

異文化と子ども

司 会 青井倫子 (愛媛大学)
田中統治 (筑波大学)

- 13 : 30 - 13 : 55 ニューカマーの子どもにとっての「居場所」と「居がい」
について (その 2)
真鍋真澄 (上智大学大学院)
- 13 : 55 - 14 : 20 日系ブラジル人から見た日本の学校
- マルシアの事例から -
山ノ内裕子 (日本学術振興会特別研究員)
- 14 : 20 - 14 : 45 紙芝居による国際教育援助
堀田 穰 (京都学園大学)
- 14 : 45 - 15 : 10 多文化保育に関する一考察
三井真紀 (湊川女子短期大学)
萩原元昭 (江戸川大学)
- 15 : 10 - 総括討論

研究発表
3部会

6月22日(土)
13:30 - 15:30
講義棟5307

子ども理解の方法

司 会 相原次男 (山口県立大学)
山本清洋 (鹿児島大学)

- 13:30 - 13:55 子ども心理的健康の関連要因におけるテレビメディアの位置づけ
角谷詩織 (お茶の水女子大学)
- 13:55 - 14:20 回想法による死の認識の発達に関する調査
増田公男 (金城学院大学)
石橋尚子 (兵庫教育大学)
津野博美 (津島町立下灘小学校)
- 14:20 - 14:45 子どもはどう語られてきたのか
- 教育問題の言説分析を通して -
太田佳光 (愛媛大学)
- 14:45 - 総括討論

研究発表
4 部会

6 月 22 日 (土)
13 : 30 - 15 : 30
講義棟 5304

育 児 問 題

司 会 石川洋子 (文教大学)
村上尚三郎 (第一福祉大学)

- 13 : 30 - 13 : 55 子育て支援事業における「子ども観」の検討
春日清孝 (明治学院大学非常勤)
- 13 : 55 - 14 : 20 子育てにおける夫婦の意識と行動
渡部晃正 (桜花学園大学)
- 14 : 20 - 15 : 10 育児不安の構造分析に関する考察
- 日本・韓国・台湾の調査を通して -
(1) 母親の育児不安の要因分析
(2) 父親の育児関与の要因分析
深谷昌志 (東京成徳短期大学)
三枝恵子 (埼玉県立松山高校)
深谷野亜 (松蔭女子大学)
神田和恵 (フリーランス・エディター)
- 15 : 10 - 総括討論

研究発表
5 部会

6 月 22 日 (土)
13 : 30 - 15 : 30
講義棟 5303

子ども・若者文化

司 会 高山英男 (子ども調査研究所)
南本長穂 (関西学院大学)

- 13 : 30 - 13 : 55 子ども・若者文化研究におけるカルチュラル・スタディーズの視座
東野充成 (九州大学大学院)
- 13 : 55 - 14 : 20 「ヂベタ座り」に見られる若者の身体文化
松田恵示 (岡山大学)
- 14 : 20 - 15 : 10 現代高校生にとっての「高校」
秦 政春 (大阪大学)
三戸香代 (北里大学)
西田亜希子 (大阪大学大学院)
- 15 : 10 - 総括討論

ワークショップ1

6月22日(土)

15:30 - 17:30

講義棟5407

障害ある人たちの造形美術活動支援

コーディネーター・話題提供者 上田久利（岡山大学）

コメンテーター 村上尚三郎（第一福祉大学）

障害ある人たちの造形美術活動支援を行なう為、エイブルアートフォーラム岡山の活動を始めた。いろいろなワークショップ、展覧会を行なうことにより社会的認知を図る。またそのことにより障害ある人たちの自立、自信につなげていく。

子どもの表現の場所の創設

- みのお紙芝居まつりの開始と経緯 -

コーディネーター	堀田 穰 (京都学園大学)
解説者	江口 寛
手作り紙芝居実演	杉山尚輝

1930年に街頭紙芝居としてはじまった紙芝居は、教育紙芝居という印刷された形になり現在にいたっている。街頭紙芝居は博物館入りし、教育紙芝居も商業出版として困難な現状の中、第三の道としての手作り紙芝居が現われてきた。大阪府箕面市では手作り紙芝居コンクールをはじめすでに十年を超えている。この全国規模のコンクールを支えてきた地方自治体と市民の共同企画について、現場から報告してもらい、さらに手作り紙芝居そのものも実演してもらおう。

紙芝居については歴史研究の立場や、国際教育援助、メディア研究など様々な研究者の立場が有るが、この手作り紙芝居を素材に交流を深めていきたい。また実際に街頭紙芝居などを所蔵している機関、施設のネットワーク構築の可能性など基礎的な研究環境の問題についても考えてみたい。

子どもと伝統音楽

コーディネーター・司会 井戸和秀（岡山大学）
指導者 田中みずほ（邦楽家）
対象者 小学生

このたびの学習指導要領改訂に伴って伝統音楽が小中学校では平成14年度、高等学校では平成15年度より導入されることになった。その背景には、社会の情報化に伴う異文化理解、明治以来、わが国の音楽教育が西洋音楽一辺倒であったことへの反省、学校週5日制の完全実施によって生じる自由な時間の活用などがある。

このような状況の下で、伝統音楽のどのような内容をいかに指導するのが問われる。従来の西洋音楽を伝統音楽に単に置き換えただけでは済まされない問題がある。

そこで小学生を対象とした伝統音楽の指導のワークショップを行うこととした。岡山在住の邦楽家・田中みずほ女史は、小学生から大学生までを対象に広くワークショップを頻繁に行っており、今回の日本子ども社会学会で発表できることは、まさに好機である。

これからの子ども社会研究をどうすすめるか？

－ 21世紀の子ども社会研究の方法を探る －

コーディネーター	田中統治（筑波大学）	
司会	原田 彰（呉大学）	
	望月重信（明治学院大学）	
発表者	森 榊（広島修道大学）	: 乳幼児期の観点から
	深谷和子（東京成徳大学）	: 臨床心理学の立場から
	住田正樹（九州大学）	: 社会学の観点から
	加藤 理（白百合女子大学非常勤）	: 児童文化研究の視点から

不透明で変動の社会で子どもの未来をめぐる議論が盛んである。一連の教育改革と新教育課程が策定施行された。学校週5日制完全実施、子どもの学力低下なども論議されている。

「心の教育」「生きる力」が子ども社会に求められている。改革の議論は従来の子どもの研究とは異質な方法論を要請しているように思われる。21世紀の子ども社会研究を模索する一つのステップとして、それぞれの専門分野から問題提起をしていただく。

再びジェンダー・フリーを考える － 実践と理論の不整合の背景を析出する －

コーディネーター	近藤 弘 (立教大学) 望月重信 (明治学院大学)
司会	岸澤初美 (川崎市立看護短期大学非常勤)
話題提供者	近藤 弘 (立教大学) 森 繁男 (京都女子大学)

ジェンダーの視点から教育を見直すジェンダー・フリー教育実践は教育の各段階でかなり展開してきている。義務教育段階だけではなく高等教育でも「女性学教育」の講座が開設されている。また、そのテキストやビデオも開発されている。しかし、ジェンダー・フリー教育の目標は定かではないように思える。

女性学、女性の視点にたつこと、ジェンダーに敏感になることとはどういうことか？理論と実践を結ぶペダゴジーとイデオロギーに関わる諸問題を提示し、皆さんと自由な議論をしたいと考えています。ビデオ教材の分析や男性学の視点からみたジェンダー・フリーについてもともに考えていきたいと思えます。

地域社会における子ども文化

司 会 飯島吉晴 (天理大学)
小笠原浩方 (プレイスクール協会)

- 9 : 30 - 9 : 55 「アクティビティ」プログラムの教育的可能性に関する研究 (その 2)
- 子育て文化の創造と公的支援システムのあり方に関する検討 -
深作拓郎 (法政大学非常勤)
- 9 : 55 - 10 : 20 戦前の紙芝居に関する一考察
川北典子 (平安女学院大学)
- 10 : 20 - 10 : 45 年中行事と人間形成
- 年長者からの聞き書き調査をとおして -
佐野 茂 (大阪商業大学)
- 10 : 45 - 11 : 10 「地域社会と子ども」
- 兵庫県中学生体験活動 -
臼杵百合子 (京都精華大学)
- 11 : 10 - 11 : 35 伝承遊びの構造と子どもの発達
- <トム・ソーヤの森で遊ぶ会> の実践から -
山本清洋 (鹿児島大学)
- 11 : 35 - 総括討論

メディア空間に生きる子どもたち

司 会 近藤大生 (京都光華女子大学)
川勝泰介 (市邨学園短期大学)

- 9 : 30 - 9 : 55 メディア時代の子どもと保育
 小林紀子 (小田原女子短期大学)
- 9 : 55 - 10 : 20 子ども向けメディアに描かれたジェンダー
 - テレビと絵本の内容分析 -
 藤田由美子 (九州保健福祉大学)
- 10 : 20 - 11 : 10 メディア・ミックス型物語享受の研究
 - 「名探偵コナン」研究方法の試み -
 松山雅子 (大阪教育大学)
 畠山兆子 (梅花女子大学)
- 11 : 10 - 総括討論

子どもの生活

司 会 住岡英毅 (滋賀大学)
永井聖二 (群馬県立女子大学)

- 9:30 - 9:55 子どもの生活実態調査
- 同一地域における1989年と2001年の比較 -
馬場桂一郎 (大阪信愛女学院短期大学)
- 9:55 - 10:20 中学生の価値意識やライフスタイルに関する調査研究
白松 賢 (愛媛大学)
- 10:20 - 10:45 「家族」としての児童養護施設
- 子どもとの関係構築に関する一考察 -
内本充統 (平安女学院短期大学)
- 10:45 - 11:35 小学生の地域での生活に関する調査研究
深谷昌志 (東京成徳短期大学)
戸塚 智 (横浜市立相武山小学校)
島田美佐江 (千代田区立麴町小学校)
夏秋英房 (聖徳大学)
三枝恵子 (埼玉県立松山高校)
- 11:35 - 総括討論

子 育 て 支 援

司 会 泉 五郎 (島根大学)
金子龍太郎 (龍谷大学)

- 9 : 30 - 9 : 55 幼児同士の共同意思決定のなされ方
礪波朋子 (奈良女子大学大学院)
- 9 : 55 - 10 : 20 世代間連鎖と子育て支援に関する一考察
横松友義 (岡山大学)
中川智之 (倉敷市立第四福田小学校)
- 10 : 20 - 10 : 45 乳幼児を持つ母親の育児不安と子育て支援ニーズに関する研究
嘉数朝子 (琉球大学)
玉城三枝子 (元沖縄看護学校助産学科)
古謝タカ子 (元沖縄看護学校助産学科)
照屋清子 (元沖縄看護学校助産学科)
- 10 : 45 - 11 : 10 幼稚園における子育て支援
- 国立大学附属幼稚園における子育て支援に関する全国実態調査 -
岸本美保子 (兵庫教育大学学校教育学部附属幼稚園)
石橋尚子 (兵庫教育大学)
- 11 : 10 - 11 : 35 できごとの協同形成過程における幼児の造形的行為の認知的・社会的
役割に関する研究
松本健義 (上越教育大学)
- 11 : 35 - 総括討論

研究発表
5 部会

6 月 23 日 (日)
9 : 30 - 12 : 00
講義棟 5303

歴 史

司 会 上 笙一郎
細辻恵子 (京都光華女子大学)

- 9 : 30 - 9 : 55 動員体制化における「教育」手段としての紙芝居
真鍋昌賢 (大阪大学)
- 9 : 55 - 10 : 20 倉橋惣三に見る児童演劇教育論
南 元子 (金城学院大学)
- 10 : 20 - 10 : 45 子守唄の近代的変貌
- 共同体のメッセージから童心主義へ -
岩田遵子 (県立新潟女子短期大学)
- 10 : 45 : 11 : 10 戦前の「キンダーブック」にみる遊びと玩具
棚橋美代子 (中京女子大学)
- 11 : 10 - 総括討論

公開シンポジウム

6月23日(日)
13:20 - 16:00
講義棟5202

今、学校の中の子どもたちは！ - 「荒れ」と指導を考える -

主催 日本子ども社会学会
後援 岡山県教育委員会
岡山市教育委員会

司 会 片岡徳雄（土佐女子短期大学）
高旗正人（岡山大学）
パネリスト 藤井禎介（岡山市立岡輝中学校）
秦 政春（大阪大学）
松浦善満（和歌山大学）
深谷昌志（東京成徳短期大学）

最近、新聞やテレビの教育関連の報道は、平成14年度より始まる「総合的な学習の時間」への取り組みの紹介一色である。「学級崩壊」も「荒れ」も、過去のことで教育現場にはすでになく、今、教育界はこぞって「生きる力」の育成への準備に勤しんでいるかのようである。ところが、教育現場では今も、「荒れ」「不登校」などの問題は決して解決していない。しかも、それらの問題を解決することになしには授業は成立できず、強調される「基礎学力」も「生きる力」も育成することはできないであろう。

シンポジウムでは、学級・学校問題の実態を明らかにし解決の方途を探る。